

小電力型ワイヤレスセキュリティシステム 中継機（双方向対応型・登録式）

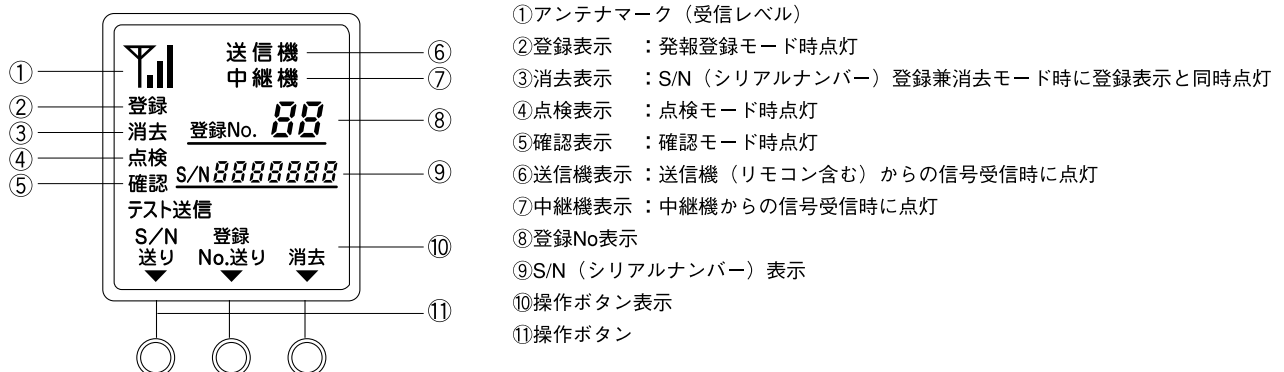
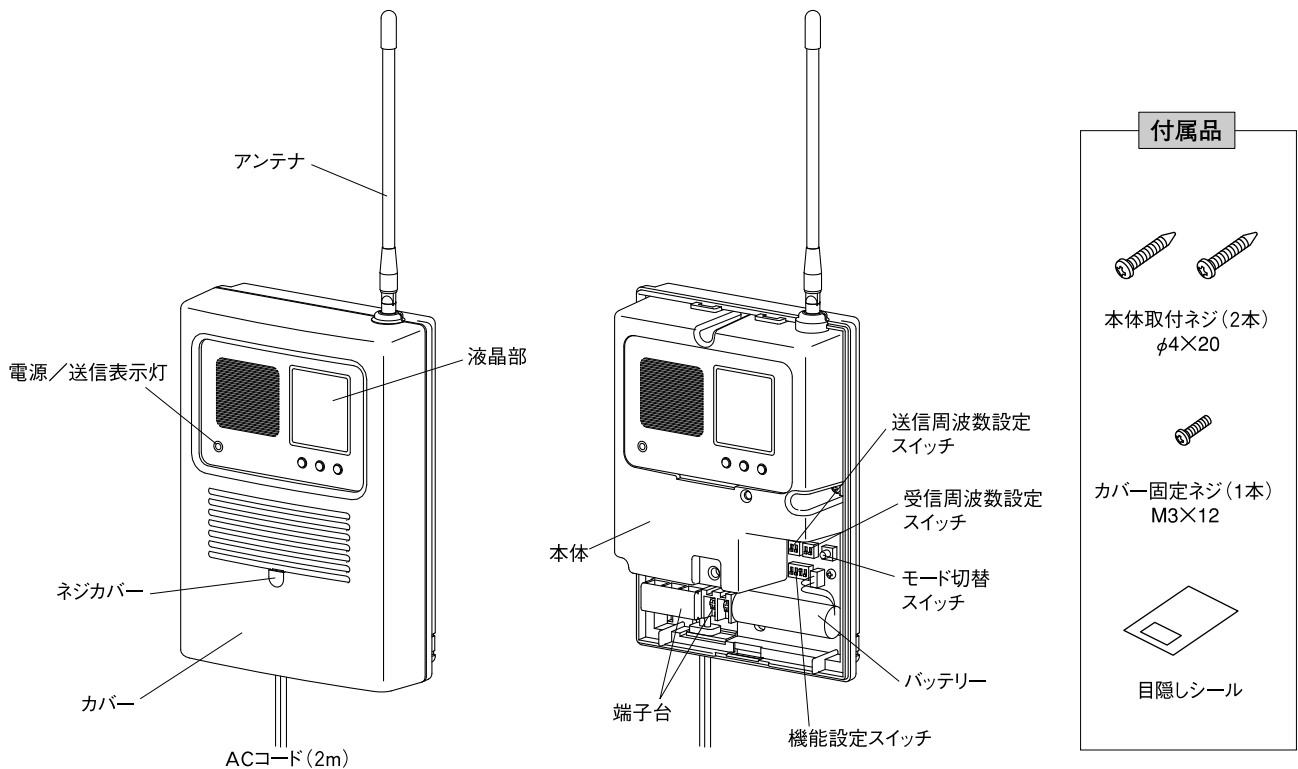
RTX-300

このたびは本商品をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に本説明書をお読みいただき、正しいご使用をお願い申し上げます。

1 商品説明

小電力型ワイヤレスセキュリティシステム「中継機RTX-300」は、弊社小電力ワイヤレスセキュリティシステムの送信機・受信機などと組み合わせてご使用いただくことにより、送信機からの電波が直接受信機に届きにくい場合でも電波の中継を行って運用を可能にします。また本機は通常登録した送信機や中継機のみを中継動作しますが、設定によっては送信機に限り、登録しなくても中継動作させることもできます。本機は、電波法で定められた「小電力セキュリティシステムの無線局の無線設備」に適合しています。

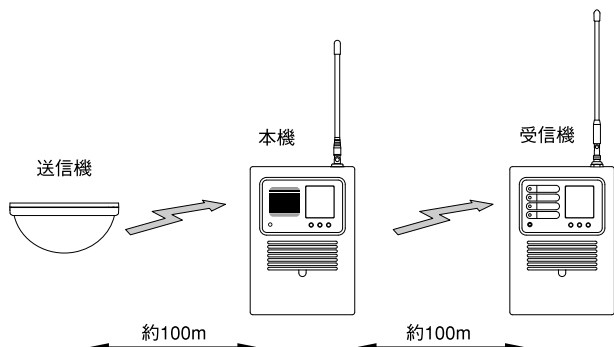
2 各部の名称



液晶部詳細

3 ご使用上の注意

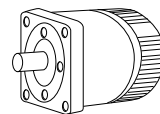
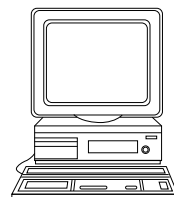
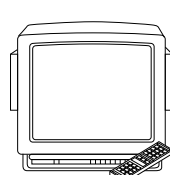
- 本機の受信可能距離および電波の到達距離は、見通し距離で約100mです。建物の構造や各機器と本機との間の障害物など、周囲の環境により受信可能距離や電波の到達距離が短くなる場合がありますのでご注意ください。



- 送信機・受信機の設置・配線工事を行うまえに電源線を仮配線し、設置しようとする場所間で確実に受信可能であることを実際に確認してください。
- 本機はAC100VまたはDC10～16Vを使用します。誤配線または違う電源を使用しますと火災・感電の原因となる場合があります。



- 強い電界や磁気を発生する機器の近く（テレビ、OA機器、モーターの近くなど）では正常に動作しないことがあります。
- 本機は屋内用です。雨のかかる場所や湿気の多い場所には設置しないでください。



テレビ・OA機器・モーターなどの近く

- 本機は日本国内の使用に限りします。
- 改造すると法律により罰せられます。また、火災、感電、故障の原因ともなりますので、この機器の分解や改造は絶対にしないでください。
- お手入れの際は乾いた柔らかい布で拭いてください。シンナー、ベンジンなどの薬品で拭かないでください。



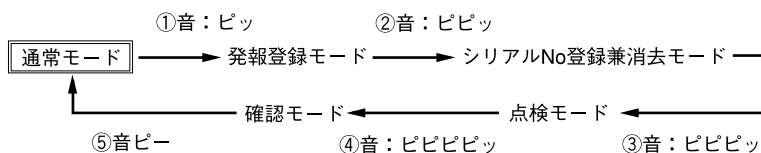
分解禁止

4 送信機または中継機の登録および、消去

登録式でご使用または、中継機を中継する場合は、この登録作業を行わないと中継動作しませんので、必ず登録を行ってください。不要な混信を避けるため、登録式で運用されることをお勧めします。

★送信機（リモコン含む）または中継機を登録、消去する場合は機能設定スイッチを出荷時設定のまま（液晶表示スイッチを表示側、登録式／非登録式スイッチを登録式側）にし、次の5つの動作モードより発報登録モードまたはシリアルNo登録兼消去モードのいずれかを目的に応じて選択します。

モード切替スイッチを1秒以上押す毎に以下のようにモードが切り替わります。



《登録》 ★登録可能台数は送信機（リモコン含む）中継機の合計で最大60台までです。

1. 発報登録

★発報登録する場合は、登録対象機器と本機との間の距離を1m以内にし、行ってください。

①本機のモード切替スイッチを1回押すと「ビッ」と鳴動すると同時に液晶に“登録”が表示され、発報登録モードに入ります。

（登録待ち状態）

既に登録がある場合、登録No最下位の内容が表示されます。

登録No送りボタンを押すことにより順次登録された内容（機器の種別、登録No、S/N）を表示することもできます。

登録なしの場合



登録ありの場合



②登録しようとする送信機（リモコン含む）の電源を投入（電池を接続）して、送信機の警報信号またはリモコンの外出警備信号を送信してください。

中継機を登録する場合は、登録対象の中継機の電源を投入後、動作モードを点検モードにし、テスト送信ボタンを押して電波を送信させてください。ただし、RTX-100 / 200シリーズを発報登録させることはできませんので、シリアルNo登録を行ってください。



★各機器からの電波を受信すると、仮登録状態となり、「ブブッ、ブブッ・・・」と鳴動し、液晶の登録機種表示（送信機か中継機かの表示）と登録Noが点滅表示、S/N（シリアルナンバー）表示が点灯表示します。登録Noは未登録の最下位の番号順に自動的に割り当てられます。

※S/Nは各々送信機や中継機個別の番号で、各機器本体の銘板に表示してあります。

- ③登録しようとする機器のS/Nと液晶に表示されているS/Nが同じであることを確認してから登録ボタンを押してください。
「ピー」と鳴動し、登録が完了し、表示は保持されたまま登録待ち状態になりますので、続けて複数台登録する場合は、再度前記②の作業を行ってください。

登録ボタンを押した場合



消去ボタンを押した場合



- S/Nが違っている場合は仮登録状態より消去ボタンを押し、仮登録内容をキャンセルしてから再度②の作業を行ってください。

★登録可能台数は送信機(リモコン含む)中継機合計で60台までです。60台を超えて登録しようとした場合は、受信時、登録台数オーバー表示として登録Noに「E1」表示、ブザー音「ブー」が鳴動します。

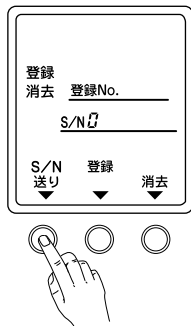
★登録済み機器から再度電波を受信すると「ピー」と鳴動し、その内容を表示しますが二重登録はされません。

- ④登録を全て終了後、モード切替スイッチを4回押して通常モードに戻してください。
5分間何も操作がない場合は、自動的に通常モードに戻ります。
なお、このモード中は受信動作のみとなり、送信動作(中継動作)は行いません。

2. シリアルNo登録

- ①本機のモード切替スイッチを2回押すと「ピピッ」と鳴動すると同時に液晶に「登録」と「消去」が表示され、シリアルNo登録兼消去モードに入ります。
1台も登録されていない場合はS/N表示部の上位7桁目のみ「0」を点滅表示します。(S/N入力待ち状態)
既に登録されている場合、登録No最下位の内容が表示されます。

登録なしの場合(S/N入力待ち状態)



登録ありの場合



- ②S/N入力待ち状態よりS/N送りボタンを何度か押し、7桁目の番号を「1」→「2」と順送りさせ、登録したい番号で登録ボタンを押します。

※登録しようとする送信機、中継機のS/Nが6桁の場合は、頭に0を付加してください。

- 登録ありの場合は登録されていない最上位の登録Noまで登録No送りボタンを何度か押し、登録なしの場合と同様にS/N入力待ち状態の表示にしてから②の操作をします。



- ③登録ボタンを押すと7桁目が点滅表示より点灯表示に変わり、その番号が登録されると同時に6桁目がS/N入力待ち状態になります。

- ④前記②同様にS/N送りボタンを押し登録したい番号で登録スイッチを押します。5桁目から1桁目までについても同様の方法で全桁入力します。

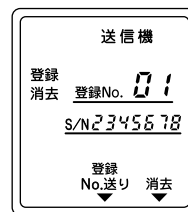
- ⑤全桁入力すると同時に登録待ち状態になり、登録Noが点滅表示します。

- 登録内容に間違いが無ければ登録ボタンを押すと「ピー」と鳴動し、登録Noが点滅から点灯表示になり、本登録されます。
●登録内容に間違いがあれば消去ボタンを押すと入力した番号はキャンセルされ、元のS/N入力待ち状態に戻ります。
再度7桁の番号を入力しなおしてください。

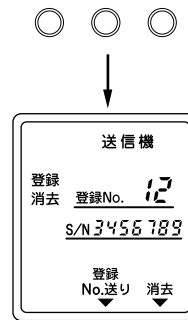
★登録可能台数は送信機(リモコン含む)中継機合計で60台までです。60台を超えて登録しようとした場合は、登録時に登録台数オーバー表示として登録Noに「E1」表示、ブザー音「ブー」が鳴動します。

- ⑥登録を全て終了後、モード切替スイッチを3回押して通常モードに戻してください。
5分間何も操作がない場合は、自動的に通常モードに戻ります。
なお、このモード中は受信動作、送信動作共行いません。

《消去》

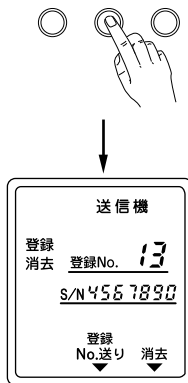


- ①本機のモード切替スイッチを2回押すと「ピピッ」と鳴動すると同時に液晶に「登録」と「消去」が表示され、シリアルNo登録兼消去モードに入ります。



- ②登録済み機器の最下位の登録Noが表示されますので、登録No送りボタンを押し、消去したい登録No(S/N)を表示させます。

★一旦登録Noを送ると液晶の操作ボタンだけでは下位の登録Noに戻すことはできません。その場合は、モード切替スイッチを複数回押し、再度登録兼消去モードにすると、再び登録Noの最下位の登録Noが表示されます。



- ③消去ボタンを1秒以上長押しすると表示されている登録Noの機器のみ消去されます。「ピー」と鳴動し、登録NoおよびS/Nが消えて該当機器の消去が完了します。

消去後、次の登録Noの内容が表示され、続けて複数消去する場合は再度消去ボタンを押すと消去可能です。最上位の登録Noまで進むと、S/N入力待ち状態へ移行します。

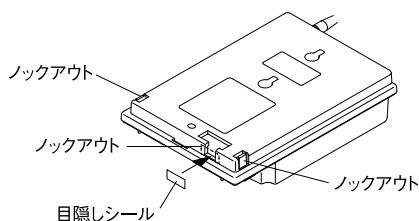
- ④消去を全て終了後、モード切替スイッチを3回押して通常モードに戻してください。
5分間何も操作がない場合は、自動的に通常モードに戻ります。
なお、このモード中は受信動作、送信動作共行いません。

5 取付方法

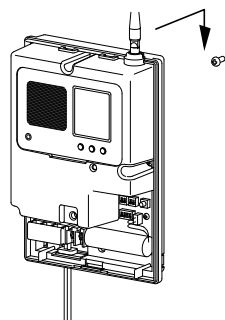
- ①カバー底部の‘PUSH’を押しながら、カバーを開けてください。



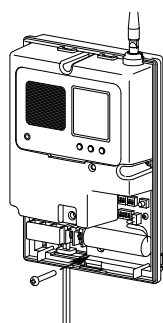
- ②埋込配線をする場合は、ACコードをはずしてから必要なノックアウトを破ってください。
また、ACコードの穴を隠す場合は、付属の目隠しシールを貼り付けてください。



- ③取付ネジ1本を上部1ヶ所に首下3mmまでねじ込み、本体上部のダルマ穴に引っ掛けてください。



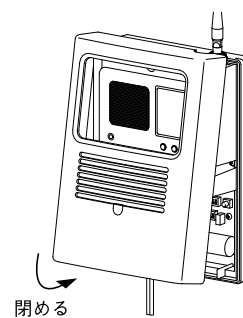
- ④本体下部の穴に取付ネジを取り付けてしっかり締め付けてください。



- ⑤〔端子配列および配線〕の項を参照のうえ、配線を行ってください。

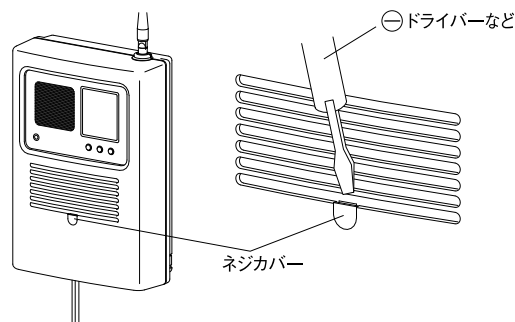
- ⑥カバーを閉めてください。

★カバーはネジで固定することもできます。

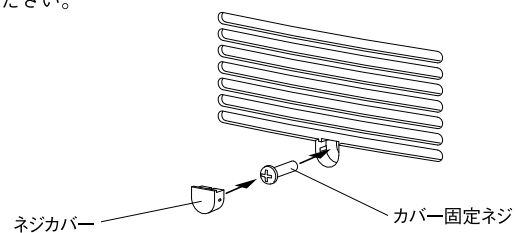


【固定方法】

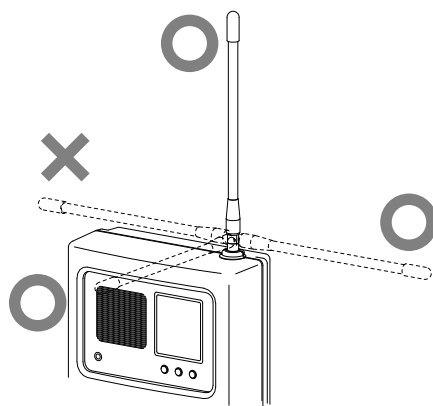
- ①ネジカバーを図のように⊖ドライバーなどではずしてください。



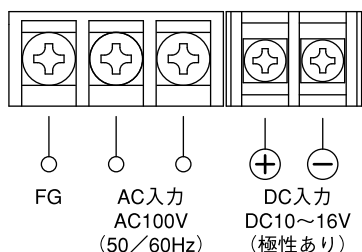
- ②付属のカバー固定ネジで固定し、ネジカバーを元のようにはめ込んでください。



- 本機のアンテナは通常、垂直方向にして使用します。
本機を高所に設置され、アンテナが天井面などに当たる場合は水平方向に倒してください。
ただし、内側横方向に向けると感度が低下しますので、内側横方向には向けないでください。



6 端子配列および配線



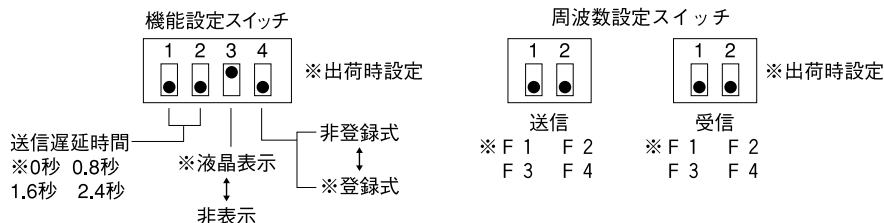
- 雷サージの影響が大きいと思われる場所に設置時はFG端子を接地工事されることをお勧めします。

AC入力端子またはDC入力端子何れかに電源を供給してください。
AC入力とDC入力の併用は絶対にしないでください。

- 本機は非常用電源(充電電池)を内蔵しており、停電時、通常30分以上は動作します。(ただし、ご購入時は充電されていませんので、最初約2日間の充電時間が必要です)
また、充電電池には寿命があります。約5年を目安に新品と交換をお願いします。
交換の際は、販売店または弊社までお問い合わせください。

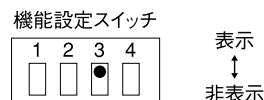
7 機能設定

- ★設定スイッチには機能設定スイッチ、周波数設定スイッチ(送信および受信)があります。使用条件に応じて各スイッチを設定してください。



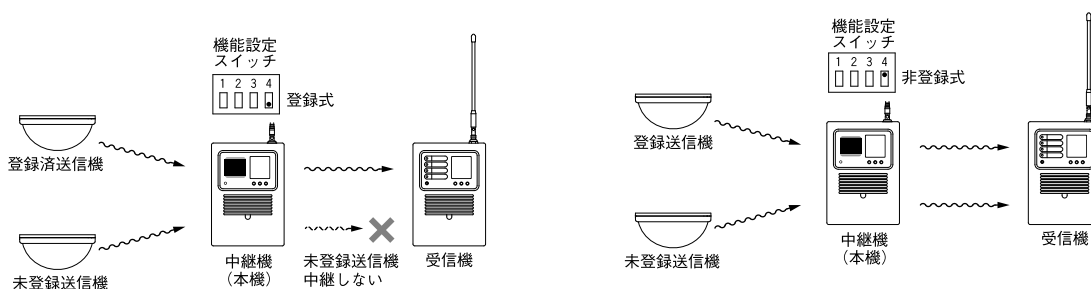
1. 液晶表示／非表示設定スイッチ

- ★通常モード時に液晶表示を表示させるか、させないかを設定するスイッチです。非表示の設定でもモード切替スイッチで通常モード以外に切り替えた場合は表示します。



2. 登録式／非登録式設定スイッチ

- ★送信機またはリモコンに対し、登録した機器だけを中継するか、すべてを中継するかを設定するスイッチです。中継機を中継させる場合は、必ず登録式に設定し、中継機を登録してください。非登録式に設定時は、中継機を中継させることはできません。
- ★送信機(リモコン含む)または中継機は合計で最大60台まで登録可能です。ただし、リモコンに対しては中継機は1台しか使用できません。また遅延時間設定スイッチは必ず0秒に設定してください。

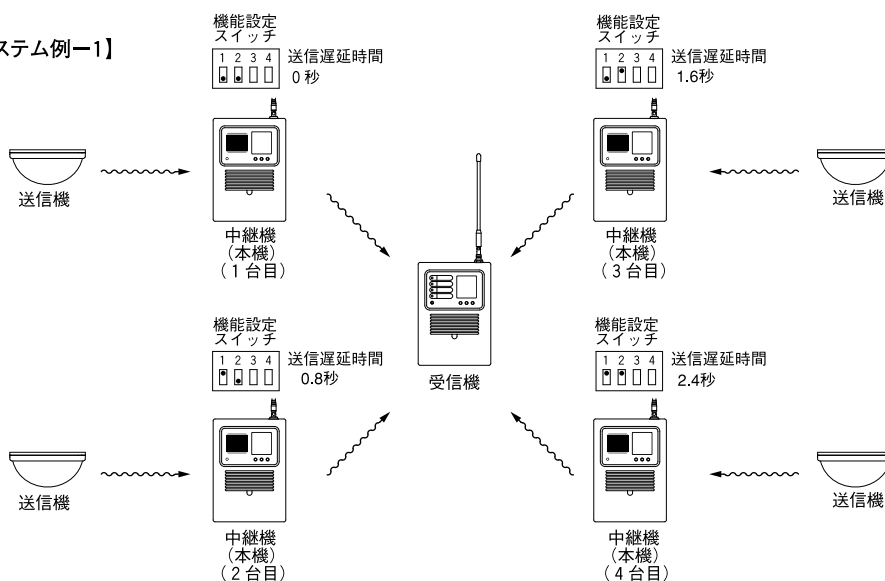


3. 遅延時間設定スイッチ

- ★送信電波を受信完了してから中継(送信)するまでの時間を設定するスイッチです。中継機を複数台並列配置する場合それぞれの遅延時間を異なる時間に設定してください。
- ★並列配置可能な台数は最大4台です。

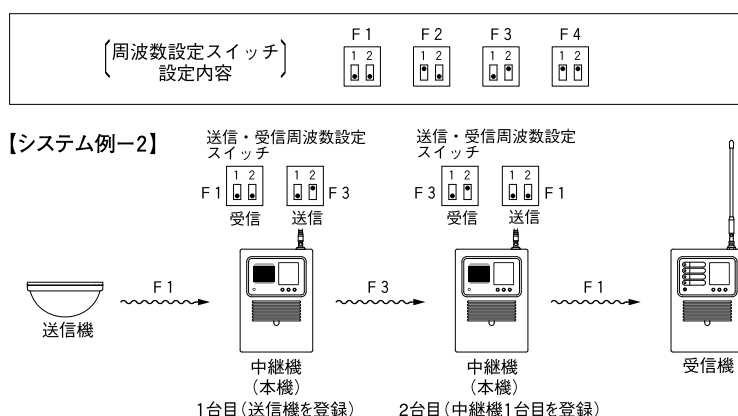
【システム例-1】

機能設定スイッチ 設定内容	
1 2 3 4	0秒
1 2 3 4	0.8秒
1 2 3 4	1.6秒
1 2 3 4	2.4秒



4. 周波数設定スイッチ

- ★周波数設定スイッチには本機の受信動作と送信動作それぞれで個別に4種類の周波数に設定可能です。通常は受信、送信周波数共、使用する送信機、受信機の周波数に合わせます。
- ★周波数設定機能の無い機器の周波数はF1ですので、その場合はF1(出荷時設定のまま)に設定してください。
- 比較的大規模なシステムで中継機を複数台直列配置され、且つ同一システム内の送信機の台数が多い場合、または他のシステムが近くにあり、それらとの混信が考えられる場合は、周波数設定機能の無い機器との組み合わせであっても、中継機どうしの間の周波数を送受信機と異なる周波数に設定することにより、混信を緩和できます。なお、直列配置で中継する場合は2台目以降の中継機には1台前の中継機を登録するだけで、1台目に登録された送信機を中継できますので、送信機を2台目以降の中継機に登録する必要はありません。



8 各種機能説明

1. 点検モード

★このモードは主に固定設置されるタイプの送信機などからの受信レベルを点検するためのモードです。
(携帯型送信機の場合は、送信場所が特定できませんので、受信レベルについては、おおよその目安程度としてください)
また、このモード時にテスト送信ボタンを押すと、他の中継機に本機を登録するための信号を送信します。



①本機のモード切替スイッチを3回押すと「ビビビッ」と鳴動すると同時に液晶に“点検”が表示され、点検モードに入ります。



②中継対象の送信機の警報信号またはリモコンの任意のボタンを押してください。

★本機を登録時に設定時は登録されている機器のみ受信し表示しますが、非登録時に設定時はすべての機器を表示します。
受信すると機器、登録No、S/N、アンテナマークの表示および報知音の鳴動を行います。
ただし、登録Noは登録されていない場合は表示しません。

●アンテナマーク、および報知音は、受信の状態により次の4種類ありますので、必要に応じて設置場所などの再点検を行ってください。

アンテナマーク	報知音	受信の状態
	ブブッ ブブッ	◎ 受信レベルは良好です。
	ブブッ ブッ	○ 受信レベルはやや弱いですが運用上問題ありません。
	ブブッ	× 受信レベルが弱く、不安定なのでこのままでは運用できません。設置変更などを行ってください。
	ブッ	× 受信レベルがかなり弱いのでこのままでは運用できません。設置変更などを行ってください。

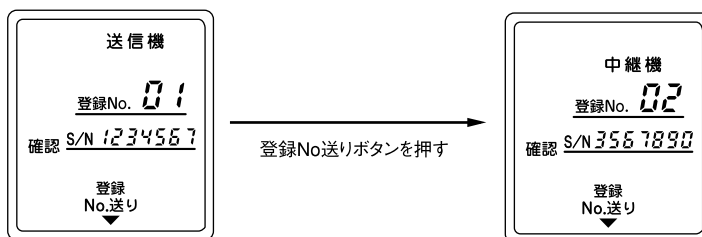
なお、この表示は、次の信号を受信するまで保持します。
また、このモード中は送信動作(中継動作)も行いますので受信機側まで正常に中継できているかも同時に点検いただけます。
ただし、リモコンと本機との間の受信レベルを点検される際は、受信機の動作は一旦停止しておいてください。
(受信機を動作させておくと、受信機からのアンサーバック信号の表示にすぐに切替るため、点検し辛くなります)

③点検終了後、モード切替スイッチを2回押して通常モードに戻してください。
5分間一度も受信されない場合は、自動的に通常モードに戻ります。
なお、このモード中は受信動作、送信動作共行います。
(通常モードと同様に中継動作します)

2. 登録内容確認モード

★このモードは登録されている機器を確認するためのモードです。

①本機のモード切替スイッチを4回押すと「ビビビビッ」と鳴動すると同時に液晶に“確認”が表示され、登録内容確認モードに入ります。
②登録No送りボタンを押す毎に、登録Noの最下位の番号から順次登録された内容(機器の種別、登録No、S/N)を表示します。



③確認作業終了後、モード切替スイッチを1回押して通常モードに戻してください。
5分間何も操作がない場合は、自動的に通常モードに戻ります。
なお、このモード中は受信動作、送信動作共行いません。

9 動作確認

①本機に電源を供給し、通常モード(モード切替スイッチでモードを切り替えない状態)で電源/送信表示灯が緑色で点灯していることを確認してください。

★赤色が連続して点滅する場合は、受信環境不良です。妨害波が発生している機器が近くにあると思われます。

その場合は近くの機器の電源を順次オフしてゆき、オフした時点で赤色の点滅が消灯すれば、その時点でオフした機器からの妨害波が原因と思われます。
その機器を遠くへ移動するか、本機を移動するなどの処置を行ってください。

②送信機より警報信号を送信させてください。

※送信方法は、各送信機の説明書をご覧ください。

③本機の受信状態は液晶表示で約4秒表示されますので、表示内容を確認してください。

それと同時に電源/送信表示灯が赤色に点灯し、送信動作(中継動作)していることを確認してください。

④本機から送信された電波が受信機に届き、受信機のシステム動作が正常であることを確認してください。

⑤動作確認終了後、液晶表示が不要な場合は液晶表示/非表示切替スイッチを非表示側に設定してください。

★個々の送信機からの電波到達状態(受信レベルなど)を確認される際は点検モードにして確認してください。

10 異常時の点検一覧表

以下の表にしたがって点検してください。点検の結果、なお正常な動作に回復しない場合は、ご購入店または弊社までお申し出ください。

状 態	原 因	処 置
全く動作しない。 (電源/送信表示灯、消灯)	・電源が供給されていない。	・電源線が正しく接続されているかを確認する。
全く中継動作しない。 (受信、送信表示をしない)	・登録式で使用时に各機器が本機に登録されていない。 ・送信側の機器と本機との距離が遠すぎる。 (100mを超えている) ・周波数設定スイッチが間違えている。	・登録する。 ・各機器との距離を近づけるか、中継機を更に増設する。 ・周波数の設定を送・受信機に合わせる。
受信、送信表示はしているが、 受信機が動作しない。	・受信機に送信機が登録されていない。 ・受信機との距離が遠すぎる。	・受信機に送信機を登録する。 ・中継機を移動するか更に増設する。
電源/送信表示灯が赤色点滅 動作を続ける。	・妨害波が発生している機器が近くに有る。	・その機器と本機との間の距離を遠ざける。
中継動作が止まらない。	・中継機を複数台使用时、互いの中継機どうしが共に登録されている。	・中継対象となる中継機のみ登録する。

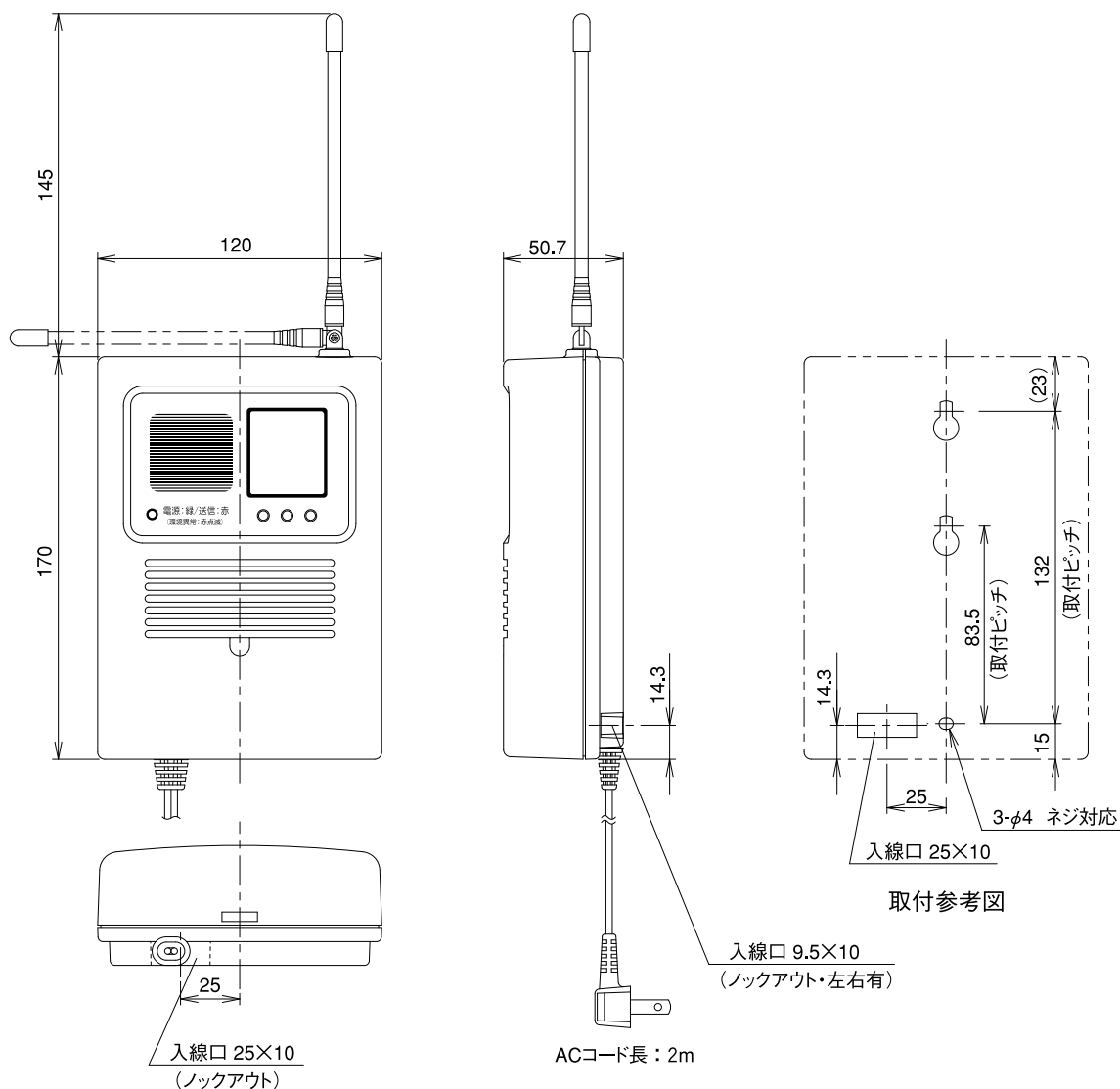
日常点検) 1. 本機が汚れた場合は、水で薄めた中性洗剤をひたした柔らかい布をよくしぼって、ふきとってください。
アルコール、ベンジン、シンナー類は変色、変形、変質や故障の原因となりますので、絶対に使用しないでください。

2. 週1回程度は定期的に動作確認をしてください。

11 仕様

品 名	中継機 (双方向対応型・登録式)
品 番	RTX-300
電 源 電 圧	AC100V 50/60Hz 2W またはDC10~16V 150mA
使用周波数帯	426MHz帯 4波 (小電力セキュリティシステムの無線設備)
使用周波数帯 (出 力)	426MHz (小電力セキュリティシステムの無線設備) (10mW以下)
空 中 線	$\lambda/4$ ホイップアンテナ
受 信 可 能 距 離	約100m (見通し距離)
送信電波到達距離	約100m (見通し距離)
電源/送信表示灯	通 電 時 : 緑点灯 (停電時バッテリーによる動作: 緑点滅) 中継(送信)時 : 赤点灯 登録/消去モード時: 緑/赤交互点灯 受信環境不良時 : 赤点滅
液 晶 表 示	中継動作時に受信内容を表示 登録、消去、点検、確認時など操作時に表示
設定スイッチ部	液晶部操作ボタン (3個) 液晶表示/非表示切替スイッチ (1極) 送信遅延時間設定スイッチ (2極: 4通り) 登録式/非登録式切替スイッチ (1極) 受信周波数切替スイッチ (2極: 4通り) 送信周波数切替スイッチ (2極: 4通り)
内 臓 ブ ザ ー	液晶部ボタン操作時 : 「ビッ」 ボタン操作後、決定時: 「ビー」 登録台数オーバー時 : 「ブー」 点検モードにて受信時: 「ブッブッ・・・」
登 録 可 能 台 数	60台 (送信機(リモコン含む)、中継機合計)
停 電 補 償	あり (30分以上)
本 体 タ ン パ ー	なし
使用可能周囲温度	-10℃~+50℃
設 置 場 所	屋内 (壁面取付)
質 量	約600g
外 観	ABS樹脂 (ホワイト)

12 外形寸法図 (単位: mm)



■ 免責事項について ■

- 本商品は各種の監視、警戒、報知、起動、威嚇、忌避、制御、護身などに使用するもので盗難防止器、犯行防止器、災害防止器、環境破壊防止器ではありません。万一発生した盗難事故、人身事故、災害事故、環境破壊事故などによる事故損害については責任を負いかねます。
- 本商品の取り付け、取り外し時の事故で発生した怪我、損害については弊社は一切責任を負いません。
- 本商品の取り付け、取り外しによる建物等への損傷についても弊社は一切責任を負いません。
- 地震・雷（誘導雷サージを含む）および弊社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。

- 本商品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（事業利益の損失、事業の中断、記憶内容の変化・消失、通信機会の消失など）に関して、弊社は一切の責任を負いません。
- 保守点検の不備や、取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 弊社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、弊社は一切責任を負いません。
- 本商品に関し、いかなる場合も弊社の費用負担は、本商品の価格内とします。

■ 販売元

Exsight

エクサイト株式会社

〒607-8345 京都市山科区西野離宮町16-1
Tel. 075-594-8288 Fax. 075-594-8380
<http://www.exsight.co.jp>

■ 製造元/竹中エンジニアリング株式会社

* 品質に関しては、当社の品質保証規定に基づき保証させていただきます。
万一不具合な点がございましたら、お買上の販売店にお申し出ください。